

事業名

ハロウィン&親子野外活動

P

●事業実施に至った背景、目的

子どもたちの自然体験が乏しく、たくましく生きる力を育むとともに、親子また親同士が協力しあい、一つのことをやり遂げる楽しさや喜び、大変さを体感してほしい。また、指導者等の負担軽減の考え、今まで別々の日に行ってきた行事を1日で開催することとした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

まちづくりセンター、まちづくり委員会生涯学習グループを中心に、企画会を開催し実施計画の検討を行った。刃物を使用することもあり、安全には十分配慮することも大切だが、しっかり子どもたちに体験させることにも重点をおくことを確認した。

D

●事業の概要

今回は、10月実施ということで、ジャンボかぼちゃを使ったジャックオーランタン作り、サツマイモの収穫体験、野外炊飯と3つの活動を実施した。作ったジャックオーランタンは持ち帰り、家で飾ってもらうとともに、国道沿いにも飾り、通行する人にも見てもらえるようにした。収穫体験でのさつまいも掘りも楽しく取り組み、芋は持ち帰ってもらった。野外炊飯では、火を起こしご飯を炊く人、豚汁を作る人、肉を焼く人など、うまく分担しながら作り上げることができた。子どもだけでなく、親世代にとっても初めての方も多く、貴重な体験となったと感じる。

C

●事業実施後の振り返り

行事を統合したことで、検討事項や注意事項も増えたが、親子の満足そうな顔を見て、達成感を感じることができた。行事の精選、スタッフの負担軽減ということで、いくつかのものを統合して実施した。準備の面では大変さもあるが、計画性をもち、協力体制を作ることによりクリアできた。体験を通して、親や子どもとの関係性を深めることができた活動であった。

A

●今後の方向性

より多くの親子が参加したくなるようなしな付けを工夫していきたい。そのためには子どもや親世代の想いを知る機会を設けることを考えていきたい。さらには、親世代が中心となって企画から運営ができる組織作りを検討してみることも必要だと考える。



天気が心配でしたが、みんなで楽しんだ1日でした。いろいろなかぼちゃの形が面白かったです。火吹竹を使ったり、なべでごはんを炊いたり、みんなで食べたご飯はとてもおいしかったです。